

**WEST**

Generate Collection

L12: Entry 1 of 3

File: JPAB

Oct 8, 1991

PUB-NO: JP403227698A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03227698 A  
TITLE: PAPER HOLDER

PUBN-DATE: October 8, 1991

**INVENTOR - INFORMATION :**

NAME COUNTRY  
URUSHINO, KENICHI

ASSIGNEE - INFORMATION:

NAME COUNTRY  
URUSHINO KENICHI  
KK YOSHIYUKI KIKAKU

APPL-NO: JP02023370  
APPL-DATE: January 31, 1990

US-CL-CURRENT: 312/184  
INT-CL (IPC): B42F 7/00

## ABSTRACT:

PURPOSE: To simply remove a filed sheet and to eliminate a labor to newly file it by removing a peelable sheet provided inside the spine of a paper holder from an adhesive layer, and then pressing fixedly the side of the sheet to be filed to the exposed adhesive surface.

CONSTITUTION: A paper holder has a bookbinding body 10 having a front sheet which has two parallel folding seams 11 in a U shape, a rear sheet and a spine 12, a double-sided adhesive tape 20 adhered to the inside of the spine 12 of the body 10, and a peelable sheet 30 peelably covering the tape 20. The sheet 30 has one slit 31 formed at its center along the longitudinal direction of the spine 12, the entire sheet 30 can be peeled, or either one sheet can be separately peeled. The surface of the sheet 20 from which the sheet 30 is removed is adhesive, and the sides of sheets 40 of paper are secured with the adhesive. The sheets 40 secured at the sides are filed in the holder, and can be easily removed as required.

COPYRIGHT: (C) 1991, JPO&Japio

Heber Six

## ⑫公開特許公報(A)

平3-227698

⑤Int. Cl.

B 42 F 7/00

識別記号

府内整理番号

S 7611-2C

⑬公開 平成3年(1991)10月8日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全5頁)

⑤発明の名称 ペーパーホルダー

⑪特願 平2-23370

⑫出願 平2(1990)1月31日

優先権主張 ⑬平1(1989)12月2日 ⑭日本(JP) ⑮実願 平1-140232

⑯発明者 漆野憲一 静岡県富士市久沢890-1

⑰出願人 漆野憲一 静岡県富士市久沢890-1

⑯出願人 株式会社ヨシユキ企劃 東京都新宿区下落合1丁目5番10号

⑯代理人 弁理士 黒田博道 外3名

田中 春田

「産業上の利用分野」

本発明はペーパーホルダー、

更に詳しくは、名刺、葉書、グリーティングカード等の同一サイズの紙類をファイルするペーパーホルダーであって、そのファイルされる紙類をそのペーパーホルダーから容易に着脱できるペーパーホルダー、に関するものである。

## 「従来の技術」

従来より、同一サイズの紙類をファイルするペーパーホルダーには、名刺入れ、止め具を備えたバインダー、葉書入れ、ようなものがあった。

① 名刺入れに関しては、札入れ型のもの、箱状のもの、などがあった。

② バインダーに関しては、ファイルされる紙に開けた穴によってファイルする止め具を有するもの、ファイルされる紙をスプリングを用いた金具で押さえるもの、などがあった。

## 1. 発明の名称

ペーパーホルダー

## 2. 特許請求の範囲

(1) 平面形状がコ字形をして表表紙、裏表紙、背表紙からなる製本紙本体と、

その製本紙本体の背表紙内側に設けた粘着層と、  
その粘着層を剥離自在に覆った剥離シートとから  
形成したこと  
を特徴とするペーパーホルダー。

(2) 剥離シートは、背表紙の縦方向に沿って分割  
剥離可能とする1または2本以上のスリットを入  
れたこと  
を特徴とする特許請求の範囲(1)に記載したペー  
パー ホルダー。

## 3. 発明の詳細な説明

③ 葉書入れに関しては、いわゆる状差しの他、葉書サイズの箱を用いるものなどがあった。

#### 「発明が解決しようとする課題」

しかしながら、従来のペーパーホルダーには次のような欠点があった。

(1) 第一に、ファイルされたものを簡単に取り出し難い、という欠点である。

① 札入れ型のものであろうと、箱状のものであろうと、収納された名刺を取り出す作業は、簡単とはいえない。

何枚か収納されている自分の名刺を相手に差し出す際に取り出すのは比較的容易であるが、既にもらって収納してある他人の名刺を捜して取り出すのは、容易ではなかった。

即ち、収納されている全ての名刺を取り出した後に、それらに書かれている名前を目視できる状態にするか、或いは1枚ずつ所望の名刺を捜してゆくか、した後、所望以外の名刺を元の名刺入れに収納しなければならなかった。この作業は、

また、請求項(2)に記載した発明は、請求項(1)に記載した発明の目的に合わせて、必要枚数の名刺或いは葉書等のファイルを行い易くしたペーパーホルダーを提供すること、をその目的とする。

#### 「課題を解決するための手段」

前記したような従来技術の欠点を鑑みた本発明者は、

(1) 平面形状がコ字形をして表表紙、裏表紙、背表紙からなる製本紙本体と、その製本紙本体の背表紙内側に設けた粘着層と、その粘着層を剥離自在に覆った剥離シートとから形成したことを特徴とするペーパーホルダー、及び

(2) 平面形状がコ字形をして表表紙、裏表紙、背表紙からなる製本紙本体と、その製本紙本体の背表紙内側に設けた粘着層と、その粘着層を剥離自在に覆った剥離シートとから形成するとともに、剥離シートは、背表紙の縦方向に沿って分割剥離可能とする1または2本以上のスリットを入れたことを特徴とするペーパーホルダー

葉書入れに入った所定の葉書を取り出す場合にも同様であった。

② バインダーにあっては、所望するものを捜してから止め具を外し、そのものを取り出してから再度止め具を止めなければならなかった。

(2) 第二に、新たにファイルする場合にも手間がかかる、という欠点である。

札入れ型の名刺入れや状差しであれば比較的簡単に新たなファイルを行うことができるが、箱状のものにあってはその蓋の明け締めをしなければならず、バインダーにあってはその止め具の操作を行わなければならない。特に、ファイルされる紙に開けた穴によってファイルする止め具を有するバインダーにあっては、ファイルする前に穴開けの作業を必要とする。

(3) そこで本発明のうち請求項(1)に記載した発明は、ファイルされたものを簡単に取り出し難く、新たにファイルするにも手間がかかるという欠点を解決したペーパーホルダーを提供すること、をその目的とする。

を提供する。

#### 「作用」

以下に、本発明にかかるペーパーホルダーの作用について説明する。

(1) 本発明のペーパーホルダーに紙類をファイルするには、剥離シートを粘着層から外した後、ファイルする紙類の側部を露出した粘着面に押しつけて固着させる。

本発明のペーパーホルダーにファイルされた紙類のうちの特定のものを取り出したい場合には、ペーパーホルダーにファイルされた紙類を、本を読むときのようにめくって所望する特定の紙類を探し出し、粘着層から引き剥す。

(2) ファイルする紙類の全体の厚さが粘着層の幅よりも薄い場合には、スリットによって分割された剥離シートを適切な枚数だけ粘着層から外し、ファイルする紙類の側部を露出した粘着面に押しつけて固着させる。

## 「実施例」

以下、本発明を実施例によって更に詳しく説明する。

第1図は本発明に係るペーパーホルダーの一実施例を示す斜視図、第2図は正面図、第3図は側面図、第4図は第2図中に示すA-A断面図、第5図は展開図である。

以下に、本実施例の構成について説明する。

本実施例のペーパーホルダーは、2本の平行な折れ目11を有することによって平面形状がコ字形をして表表紙、裏表紙、背表紙12からなる製本紙本体10と、製本紙本体10の背表紙12内側に接着した両面粘着テープ20と、その両面粘着テープ20を剥離自在に覆つた剥離シート30とから形成されている。

表表紙及び裏表紙は、ファイルされる紙類40とほぼ同一寸法に形成されている。

剥離シート30には、その中央に、背表紙12の縦方向に沿って1本のスリット31がに入って

その後、ファイルする紙類40の側部を粘着面が露出した両面粘着テープ20に押し付けて粘着させる。

② 本実施例のペーパーホルダーにファイルされた紙類40のうちの特定のものを取り出したい場合には、ペーパーホルダーにファイルされた紙類40を、本を読むときのようにめくって所望する特定の紙類40を探し出し、両面粘着テープ20から引き剥す。

以下に、本実施例の効果について説明する。

① ファイルされた紙類40を本をめくるようにして探し出して簡易に取り出すことができ、新たにファイルするにも両面粘着テープ20に押し付けるだけでよいので手間がかからない。

② ファイルする紙類40の厚さが両面粘着テープ20の幅の半分以下である場合には、スリット31によって分割された剥離シート30のどちらか一方のみを両面粘着テープ20から剥せばよいので、両面粘着テープ20が長持ちするととも

おり、剥離シート30全体を剥すことができるほか、どちらか一方のみを分割して両面粘着テープ20から剥離することもできる。

両面粘着テープ20及び剥離シート30の横幅は、背表紙12の横幅よりもやや幅狭としている。

剥離シート30を外した両面粘着テープ20の表面は粘着性を有しており、紙類40の側部をその粘着力によって固着する。側部を固着された紙類40は、ペーパーホルダーにファイルされるが、必要に応じて容易に外すことができる。

以下に、本実施例の使用方法について説明する。

① 本実施例のペーパーホルダーに紙類40をファイルするには、まず、剥離シート30を両面粘着テープ20から外す。このとき、ファイルする紙類40の全体の厚さが剥離シート30の幅の半分以下である場合には、スリット31によって分割された剥離シート30のどちらか一方のみを両面粘着テープ20から剥す。

に、剥離シート30を剥していない方の両面粘着テープ20に埃がついたりすることもないし、ファイルされた紙類40に粘着するなどしてトラブルを起こすこともない。

③ 従来のバインダー等は、一般的にそれに収納される名刺或いは葉書等よりも大型に形成されていたので、ファイルした後の収納空間が、バインダー等を用いずに名刺或いは葉書等を単独で収納した場合に比べて広い空間を必要としていた。

しかし、本実施例のペーパーホルダーにあっては、表表紙及び裏表紙をファイルされる紙類40とほぼ同一寸法に形成しているので、紙類を単独で収納した場合とほぼ同様の収納空間があれば名刺或いは葉書等を収納できる、という効果がある。

以下に、本実施例のバリエーションについて説明する。

① 本実施例のペーパーホルダーにあっては、剥離シート30に設けたスリット31は1本であ

る、として説明したが、本発明に係るペーパーホルダーはこれに限られるものではなく、2本以上でもよい。

② 本実施例のペーパーホルダーにあっては、粘着層を両面粘着テープ20で形成したとして説明したが、本発明に係るペーパーホルダーはこれに限られるものではない。

製本紙本体10を製造する際に予め設けられた粘着層であってもよい。

③ 本実施例にあっては、ペーパーホルダーを形成する材料については特に説明しなかったが、

例えば製本紙本体10を単なる厚紙で形成すれば、材料も安価であり、折れ目11を入れるのも簡単であるので、非常に安価なペーパーホルダーを提供することができる。

④ 本実施例にあっては、ペーパーホルダーのメンテナンスについては特に説明しなかったが、

例えば、両面粘着テープ20を簡単に取り替え自在に形成しておけば、両面粘着テープ20の粘着力が落ちたら取り替えて継続使用できる。

また、両面粘着テープ20から外した剥離シート30を収納しておくところを製本紙本体10に設けておけば、両面粘着テープ20の粘着力を永く保持することができ、結果としてペーパーホルダーを長持ちさせることができる。

#### 「発明の効果」

本発明によれば、

ファイルされたものを簡易に取り出すことができ、新たにファイルするにも手間がかからない、という効果がある。

更に、必要枚数の名刺或いは葉書等のファイルを行い易くしたペーパーホルダーを提供することができた、という効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は 本発明に係るペーパーホルダーの一実施例を示す斜視図、第2図は 正面図、第3図は側面図、第4図は 第2図中に示すA-A断面図、第5図は 展開図である。

10：製本紙本体

11：折れ目

12：背表紙

20：両面粘着テープ

30：剥離シート

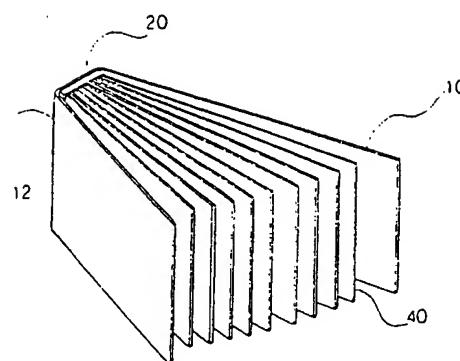
31：スリット

代理人 弁理士 黒田 博道

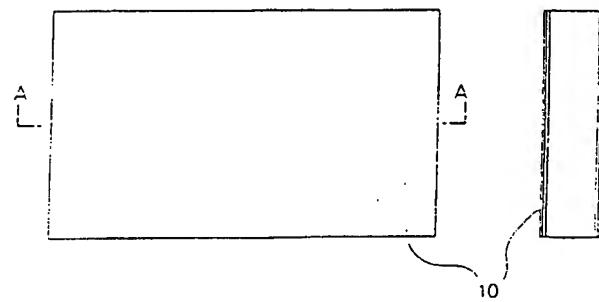
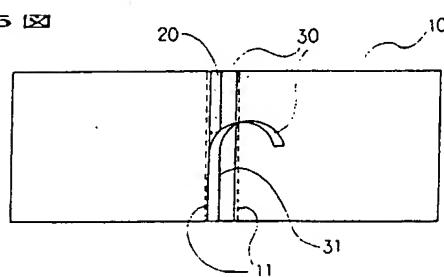
第2図

第3図

第1図



第5図



第4図

